

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、さぎの宮圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年8月5日（水）9時30分から11時まで
参加者	委員：12人 事務局：1人 その他：9人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：2人、包括支援センターさぎの宮：2人、浜松市社協：3人）
場所	笠井協働センター 講座室
内容	<p>1 議事 以下2点について協議が行われ、承認された。</p> <p>(1) 委員について 笠井地区より7名、長上地区より5名の委員が選出され、承認された。 任期については令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間となる。</p> <p>(2) 会長・副会長の選出 委員からの推薦により、会長・副会長が選出され承認された。</p> <p>2 行政説明 協議体について、高齢者福祉課より説明。 [説明内容] ・平成27年度の介護保険法改正で始まった総合事業の一環。 ・全国一律のサービス提供ではなく、市町の実情に合わせた地域の支え合いの仕組みづくりが必要となってくる。 ・住み慣れた地域で役割をもって、生き生きと生活ができるよう住民主体によるサービスが期待されている。</p> <p>3 昨年度の振り返り 事務局より昨年度の協議体の開催日時、協議内容、決定事項等について報告。 [報告内容] ・昨年度は協議体会議を年4回（6/4、10/4、12/4、2/6）開催。 ・地区ごとに何に取り組むかを検討し、長上地区・笠井地区の両地区ともに「家事支援」についての話し合いが進んでいる。</p> <p>4 今年度の進め方 協議体会議の開催回数と開催時期について協議を行い、下記のとおりで決定した。 [決定内容] 開催回数は年3回、今後の開催時期は12月、2月の予定となった。</p> <p>5 グループワーク 「家事支援」をテーマに地区ごとにスケジュールの確認と、今後の進め方等について協議。 [意見等] 長上地区 ・FAXや電話などの連絡手段に係る費用をどうしていくのが課題。 ・活動してくれる人がわかりやすいように活動事例集がほしい。 笠井地区 ・これまで地域住民への発信を同時進行でやってきたが、それは一時中断し仕組みづくりに力を入れていく。</p>

	<p>・過去に家事支援を行ってきたこともあり、ゼロからスタートするのではなく、あったものを見直し、より良いものに変えていってはどうか。</p> <p>6 各地区からの報告 前回から今回の会議までの進捗状況と地区ごとに話し合った内容について委員から報告。</p> <p>長上地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年4月の開始を目標に長上地区生活支援サービス「お手伝いながかみ」(仮称)開始までの予定が生まれ、進行中。 <p>笠井地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月に住民懇談会、7月に勉強会を開催したことで、住民の意識の底上げにつながった。 ・現在は笠井地区社協のメンバーで小委員会を開催しているが、今後は事務局をつくり、会計・受付・調整などの係を決めた方がよい。
<p>今後の見通し等</p>	<p>今年度第2回協議体会議は令和2年12月2日(水)9時30分～長上協働センターホールにて開催する。</p>